

第47回日本中毒学会総会・学術集会 プログラム

7月26日(土) 1日目

第1会場 研修室906 + 研修室907

8:50～9:00 開会式

開会挨拶 第47回日本中毒学会総会・学術集会 会長 添田 博

9:00～10:30 パネルディスカッション1

医薬品中毒と情報

座長 山口大学大学院医学系研究科 救急医学講座 藤田 基
T & T タウンファーマ株式会社 畝井 浩子

PD1-1 PMDAの情報から中毒情報を考える

公益財団法人 日本薬剤師研修センター 岸 達生

PD1-2 日本中毒情報センターにおける医薬品の中毒情報の提供

公益財団法人 日本中毒情報センター 高野 博徳

PD1-3 市販薬のオーバードーズに関わる情報提供のあり方 - ダメと言わない支援のススメ -

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 嶋根 卓也

PD1-4 限られた時間と情報から“最善”を引き出すー中毒対応で病院薬剤部 DI 室が果たす意思決定支援力ー
広島大学病院 薬剤部 吉川 博

PD1-5 医薬品中毒と情報～大学の立場から～

東邦大学 薬学部 臨床薬学研究室 植草 秀介

10:40～12:10 シンポジウム1

急性中毒の検査と評価

座長 愛媛大学大学院医学系研究科 法医学講座 浅野 水辺
筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 井上 貴昭

SY1-1 科学警察研究所発行「薬物による中毒事故等の発生状況」から、中毒の推移を読み解く

科学警察研究所 辻川 健治

SY1-2 臨床における急性中毒診断の課題

国際医療福祉大学成田病院 千葉 拓世

SY1-3 急性中毒の検査と評価：臨床における薬毒物検査

岩手医科大学 救急・災害医学講座、岩手医科大学 薬物毒物検査部門 藤田 友嗣

SY1-4 法医学解剖における中毒症例について

横浜市立大学 井濱 容子

SY1-5 法医学解剖の薬毒物分析における注意点と死亡者情報の重要性

北里大学 医学部法医学 佐々木千寿子

13:10～13:40 総会

13:50～14:50 特別講演 1

将来に備える地下鉄サリン事件の教訓

座長 聖路加国際病院 救急科・救命救急センター 大谷 典生

SL1-1 化学兵器による多数傷病者発生事件 地下鉄サリン事件の場合

聖路加国際病院 石松 伸一

SL1-2 地下鉄サリン事件から 30 年—医療者の使命と自己防衛の両立

聖路加国際病院 救命救急センター 柳澤八恵子

※「クリニカル・トキシコロジスト認定・更新セミナー」として指定されています。

15:00～16:00 教育講演 1

座長 医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 薬剤部 齋藤 靖弘

EL1-1 あなたは中毒を連想することができるか？ ～病院前、ER で中毒を疑うために～

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 廣瀬 智也

※「クリニカル・トキシコロジスト認定・更新セミナー」として指定されています。

16:10～17:40 シンポジウム 2

世界から連なる ～世界の中毒事件簿～

座長 聖路加国際病院 救急科・救命救急センター 大谷 典生

筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 井上 貴昭

SY2-1 VX を用いた殺傷事件 - 事件の概要からわかる特徴と留意すべき事項 - 最新の知見を含めて

国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター 大西 光雄

SY2-2 神経剤ノビチョクによる国際的中毒事件：現代における化学兵器テロの実態と医学的課題

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科 早川 桂

SY2-3 ポロニウム暗殺事件

防衛医科大学校病院 救急部 清住 哲郎

SY2-4 世界の中毒事件簿 ～有毒アルコール～

国際医療福祉大学成田病院 千葉 拓世

SY2-5 世界の中毒事件簿～農薬～

埼玉医科大学 臨床中毒科 喜屋武玲子

SY2-6 世界の食品等による中毒事例について

国立医薬品食品衛生研究所 登田 美桜

第2会場 研修室 905

9:00～10:30 パネルディスカッション2

中毒専門家がない医療機関における中毒診療

座長 国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター 大西 光雄
国立病院機構 東近江総合医療センター 薬剤部 服部 雄司

PD2-1 2次救急×中毒+ときどき救急医

明石医療センター 救急科 井上 彰

PD2-2 札幌市における中毒診療の現状と問題点

札幌東徳洲会病院 集中治療部 佐藤 洋祐

PD2-3 認定クリニカル・トキシコロジストがない高度救命救急センターでの中毒初期診療における薬剤師の取り組み

京都第二赤十字病院 薬剤部 川島 裕明

PD2-4 急性中毒の精神病理学—依存症臨床の立場から—

神奈川県立精神医療センター 小林 桜児

10:40～12:10 パネルディスカッション3

看護師からみた中毒患者、中毒診療

座長 社会医療法人緑泉会 米盛病院 救命救急センター 富岡 譲二

PD3-1 中毒患者に対する初療における看護師の役割と展望

神戸市立医療センター中央市民病院 西尾 勇次

PD3-2 看護師から見た中毒患者、中毒診療

森ノ宮医療大学 米花 紫乃

PD3-3 精神科訪問看護師が立ち会う中毒・依存症の現場と対応

訪問看護ステーション Wing 増子 徳幸

PD3-4 看護師の急性中毒に対する教育の現状

東海大学医学部 救命救急医学 山本 理絵

15:00～16:00 教育講演2

院内製剤の解毒・拮抗薬

座長 山形大学医学部附属病院 薬剤部 山口 浩明

EL2-1 院内製剤としての解毒拮抗薬

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 田村 亮

EL2-2 院内製剤の市販化に至るまでのプロセスと課題 —メトロニダゾール外用剤の薬事承認を経験して—

昭和薬科大学 渡部 一宏

※「クリニカル・トキシコロジスト更新セミナー」として指定されています。

16:10～17:40 パネルディスカッション4

ポリファーマシーと中毒

座長 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 有吉 孝一

PD4-1 ポリファーマシー最前線！在宅医療における課題と中毒リスク

ケアプランセンターいと 藤井 円

PD4-2 ポリファーマシーと中毒

琉球大学病院 救命救急センター、高知医療センター 救命救急センター 杉村 朋子

PD4-3 ポリファーマシーと薬剤起因性老年症候群～それは中毒か？～

国立長寿医療研究センター 薬剤部 / 高齢者薬学教育研修室 溝神 文博

第3会場 研修室 902

9:00～10:00 一般演題1

医薬品中毒1

- 座長 社会医療法人蘇西会松波総合病院 救命救急センター 山口 均
- 01-1 レクチゾールにより薬剤性メトヘモグロビン血症をきたした一例
札幌東徳洲会病院 森川 逸平
- 01-2 $\alpha 1 \cdot \beta$ 受容体遮断薬カルベジロールを過量服用した患者に対してグルカゴンにて加療したことにより循環動態に改善が見られた一例
湘南藤沢徳洲会病院 薬剤部 長谷川 翔
- 01-3 高齢女性に発症したジスチグミン臭化物によるコリン作動性クリーゼの一例
新久喜総合病院 外科 樋口 大空
- 01-4 2度にわたる sodium glucose cotransporter 2 阻害薬の過量内服にて搬送され低血糖・尿糖陽性が遷延した症例
東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 中道 嘉
- 01-5 ビルシカイニド 15 錠内服による中毒に V-A ECMO 導入が必要となった1例
～一般処方薬の危険性に再注目～
公立昭和病院 救命救急センター 勝田 晃平
- 01-6 複数種類の降圧薬過量服用による難治性循環不全に対し、V-A ECMO に加え静脈脂肪乳剤療法を行った一例
さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 武田 悠史

10:00～11:20 一般演題2

医薬品中毒2

- 座長 公益財団法人日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番 今田 優子
大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部 佐藤 史織
- 02-1 短時間で死に至った急性ジフェンヒドラミン中毒の一例
旭川医科大学法医学講座 奥田 勝博
- 02-2 ジフェンヒドラミン中毒に対する自動瞳孔記録計を用いた対光反射の定量的評価について
奈良県立医科大学 高度救命救急センター 山本 幸治
- 02-3 慢性的なカフェイン常用・ジフェンヒドラミン内服により横紋筋融解症を来した1症例
甲南医療センター 救急科・集中治療科 宮崎 勇輔
- 02-4 デキストロメトルファンを含む薬剤の過量内服によりセロトニン症候群を発症した3例
大阪急性期・総合医療センター 内田 勇
- 02-5 デキストロメトルファン含有 OTC 薬の過量服薬により心停止に至った1症例
防衛医科大学校病院 救急部 興石 衡
- 02-6 降圧薬等との複合中毒によるショックに伴い、肝障害の遷延を来した治療用量でのアセトアミノフェン中毒の1例
金沢大学附属病院 北山 怜奈
- 02-7 アセトアミノフェン中毒の経験と新しい知見
野崎徳洲会病院救急センター 千代 孝夫
- 02-8 アセトアミノフェンの反復摂取による肝障害を呈した1例
広島大学病院薬剤部 三好 真希子

11:20～12:10 一般演題3

農薬中毒

座長 福島県立医科大学 地域救急医療支援講座 小野寺 誠

O3-1 保存的加療で後遺症なく救命したトルフェンピラド中毒の1例
成田赤十字病院 救急・集中治療科、千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学 齋藤 大輝

O3-2 ビレスロイド系殺虫剤経口暴露により意識障害を生じた1例
春日井市民病院救命救急センター 近藤 圭太

O3-3 カルタップ中毒死の一剖検例
高知大学医学部法医学講座 西村 拡起

O3-4 有機リン中毒患者における全血 mRNA を用いた遺伝子発現プロファイルの網羅的解析
大阪大学大学院医学系研究科・医学部 山本 将大

O3-5 瞳孔記録計を用いた定量測定パラメーターに基づき有機リン中毒における PAM 投与期間を決定した1例
筑波大学附属病院 古川 琢斗

13:50～15:00 一般演題4

薬毒物分析

座長 岩手医科大学 法科学講座法医学分野 森川 剛

O4-1 市販尿中大麻検査キットの Δ 9-THC-COOH- グルクロン酸抱合体及び非抱合体に対する反応性の評価
科学警察研究所 辻川 健治

O4-2 急性カフェイン中毒診断のための血中カフェイン濃度迅速測定システム開発
北海道大学大学院工学研究院 石田 晃彦

O4-3 エチレングリコールや代謝物とその他のジオール類の GCMS 分析法
広島大学大学院医系科学研究科法医学 奈女良 昭

O4-4 尿中スクリーニングキットを応用した血清中アセトアミノフェン濃度の推定
東海大学医学部総合診療学系救命救急医学 斉藤 剛

O4-5 モノリス型スピンチップを用いたヒト血漿中オレキシン受容体拮抗薬の簡易抽出法の確立と臨床実務への応用
東邦大学医学部法医学講座、東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 青山 剛一

O4-6 高速液体クロマトグラフィーによるメトホルミン測定法の確立と中毒域の探索
熊本大学 薬学部 臨床薬物動態学分野 堀 真依子

O4-7 lVeX-screen M1 が2種類の薬物に偽陽性を示した一剖検例
筑波大学医学医療系法医学 稲葉 毬恵

15:00～16:00 一般演題 5

自然毒中毒

座長 新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 廣瀬 保夫

05-1 トリカブト中毒における体液中代謝産物濃度の推移
聖マリア病院 救命救急センター 森 竜

05-2 日本における蛇咬傷の分子生物学的診断法の開発と検証：多施設共同前向き観察研究 第一報
長崎大学病院 高度救命救急センター 救急・国際医療支援室、
長崎みなとメディカルセンター 救命救急センター
青木 義紘

05-3 開口障害で受診したクロガシラウミヘビ咬傷の1例
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 救急・集中治療科、
国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科
阿部 勇樹

05-4 早期に胃洗浄を施行した、テングタケの誤食による中毒の一例
札幌東徳洲会病院 藤田 晶帆

05-5 心電図変化がアコニチン類の血中濃度と相関し、病勢の評価に有効であったトリカブト中毒の症例
防衛医科大学校病院卒後臨床研修センター 軍司 真紀

05-6 トリカブト中毒による心停止に対し蘇生に成功し、アコニチン系アルカロイドの血中・尿中濃度の二峰性上昇を認めた一例
独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 救命救急科、
独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 救急科
近藤隆太郎

16:10～17:20 一般演題 6

解毒薬・拮抗薬・治療

座長 広島大学病院 薬剤部 佐藤 智人

06-1 抗マムシ血清～アドレナリン前投与に関するちょっとした疑問～
済生会福岡総合病院 救命救急センター 友田 昌徳

06-2 重症カフェイン中毒に対する各血液浄化療法におけるクリアランスの検討
福岡大学病院 救命救急センター 泉谷 義人

06-3 急性カフェイン中毒治療における CHD、high-flow CHD、CHDF、high-flow CHDF の有効性比較
福島県立医科大学医学部法医学講座 武田 紗希

06-4 血漿中濃度が測定できない施設におけるアセトアミノフェン中毒に対する N-アセチルシステイン投与の検討
札幌徳洲会病院 薬剤部 竹内 正真

06-5 適用条件の改訂による消化管除染実施の変化
東海大学医学部救命救急医学 山本 理絵

06-6 鉄剤過量服用におけるデフェロキサミンの有効性
医誠会国際総合病院 薬剤部 安部 敏生

06-7 日本中毒情報センターの問い合わせ状況からみた市販薬の意図的摂取の現状
公益財団法人日本中毒情報センター 三瀬 雅史

7月27日(日) 2日目

第1会場 研修室906 + 研修室907

9:00 ~ 10:30 シンポジウム3

中毒診療における真の多職種連携とは～中毒診療の始まりと終わりまで～

座長 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 廣瀬 智也
大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部 佐藤 史織

SY3-1 当センターでの中毒疾患における多職種連携

京都第二赤十字病院 高度救命救急センター 石井 亘

SY3-2 急性中毒における薬剤師の取り組みと多職種連携

京都桂病院 段林 正明

SY3-3 総合病院精神科医の中毒診療における役割～現状と課題～

国立病院機構大阪医療センター 精神科 田宮 裕子

SY3-4 急性薬物中毒患者に対する精神科救急病棟での関わりについて

浅香山病院 医療福祉相談室 駒野 敬行

10:40 ~ 12:10 ワークショップ2

連なって深める中毒診療 ～多職種で考えるケースレポート～

座長 薬師寺慈恵病院 救急科 薬師寺泰匡
医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 薬剤部 齋藤 靖弘

WS2-1 急性中毒傷病者に対する消防隊・救急隊の役割と連携

医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック 診療技術部 救急救命士科 加藤 敦

WS2-2 不確実性を越える中毒診療は連携と実践の中で生まれる

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院救急集中治療センター救急科 佐藤 洋祐

WS2-3 中毒診療における臨床薬剤師の役割

埼玉医科大学国際医療センター 鈴木 善樹

WS2-4 中毒診療における薬毒物分析の現状と課題

岩手医科大学 法科学講座法医学分野 森川 剛

13:10～14:40 シンポジウム 4

連なって深める中毒診療 ～各職域団体で考える今後～

座長

東京医科大学病院 薬剤部 添田 博

さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 清田 和也

SY4-1 中毒診療で連携を深めるために - 医療者に求められる知識と各職種の視点への理解

国立病院機構 大阪医療センター 大西 光雄

SY4-2 小児中毒診療における見逃しの構造解析とその克服

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科・小児救命救急センター 伊原 崇晃

SY4-3 中毒疾患に対する救急救命士の役割

国士舘大学大学院 救急システム研究科 田中 秀治

SY4-4 中毒診療における薬剤師の貢献と多職種連携

国立病院機構東近江総合医療センター 薬剤部 服部 雄司

SY4-5 連なって深める中毒診療～臨床検査技師の立場から考える今後の役割と課題～

近畿大学病院 津田 喜裕

14:50～15:50 特別講演 2

座長

さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 清田 和也

SL2-1 いわゆる「健康食品」を巡る動向

消費者庁 紀平 哲也

※「クリニカル・トキシコロジスト認定・更新セミナー」として指定されています。

16:00～17:30 シンポジウム 5

実地医療から見た中毒教育の現状（過去・現在そして若者たちへ）

座長

東邦大学 薬学部 臨床薬学研究室 松尾 和廣

広島大学病院 薬剤部 佐藤 智人

SY5-1 化学災害の教訓を未来へ：中毒対応力強化に向けた消防・救急救命士教育の提言

広島市消防局 西岡 秀郎

SY5-2 高流量持続血液ろ過透析（高流量 CHDF）で救命し得たメトホルミン関連乳酸アシドーシスの一例

湘南藤沢徳洲会病院 大西 正寛

SY5-3 当院における看護師の急性中毒の知識と実践能力の現状

広島大学病院 佐々 智宏

SY5-4 実地医療から見た中毒教育の現状（過去・現在そして若者たちへ）病院薬剤師の立場から

横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部 岡本 祥史

SY5-5 中毒に関する教育機関と臨床現場におけるギャップ

日本救急検査技師認定機構 福田 篤久

17:30～17:40 閉会式

第2会場 研修室 905

9:00～10:30 ワークショップ1

労働災害対応の現状と課題

座長 新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 廣瀬 保夫
公益財団法人日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番 三瀬 雅史

WS1-1 新たな化学物質の規制、労働安全衛生法の改正（危険有害性情報の通知関係）などについて

厚生労働省 労働基準局安全衛生部化学物質対策課 猿渡 敬

WS1-2 臨床現場から見た労働災害中毒対応の現状と課題

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 杉田 学

WS1-3 工業用品中毒における生物学的モニタリング検査を用いた曝露評価と今後の展望

中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 竹内 靖人

WS1-4 日本中毒情報センターにおける労働災害対応の現状と課題

公益財団法人日本中毒情報センター 三瀬 雅史

10:40～11:10 総務委員会報告

座長 福島県立医科大学医学部 救急医療学講座 伊関 憲

日本中毒学会の未来を考えるー評議員アンケートから見た現在の状況と課題ー

日本中毒学会総務委員会委員長、福島県立医科大学地域救急医療支援講座 小野寺 誠

11:20～12:20 教育講演3

日常に潜む薬物中毒

座長 東邦大学 薬学部 臨床薬学研究室 松尾 和廣

EL3-1 見過ごされがちな薬物中毒ー過量服用から意図せぬ中毒事例まで

広島大学大学院 医系科学研究科 微生物医薬品開発学、広島大学病院 薬剤部 檜山 洋子

※「クリニカル・トキシコロジスト更新セミナー」として指定されています。

13:10～14:00 一般演題 10

医薬品中毒 4

座長 順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科 柳川 洋一

O10-1 未成年者による薬物中毒の患者背景調査

藤田医科大学病院 薬剤部 廣瀬 正幸

O10-2 overdose 診療時の用量計算アプリの開発～AIによるアプリ開発の実際～

横浜みなと赤十字病院 整形外科、東京科学大学病院 救急科 鬼頭 知之

O10-3 カリウム含有サプリメントの過量摂取により重度の高カリウム血症を呈した一例

神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 中西 信人

O10-4 当院救命センターに搬送された過量内服患者における血中薬物濃度測定の有用性の検討

新潟大学医歯学総合病院集中治療部 大橋さとみ

O10-5 液体クロマトグラフィー/質量分析によりロキソプロフェンおよび代謝物動態を確認した大量服薬の1例

大阪大学医学部付属病院 高度救命救急センター 森 大樹

教育・診療体制・チーム医療

- 座長 順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 杉田 学
- O11-1 精神科入院を必要とした医薬品のオーバードーズ症例の検討
大阪公立大学医学部附属病院救命救急センター 松尾 健志
- O11-2 迅速な薬毒物分析体制の構築について
大阪府立中河内救命救急センター検査室 吉田 元治
- O11-3 簡易尿中薬物検査キットの有用な結果報告を行うための取り組み
大阪府立中河内救命救急センター検査室 黒田 舞子
- O11-4 当院薬剤部におけるオーバードーズ患者への対応と症例の傾向調査
JA 愛知厚生連江南厚生病院 内山 耕作
- O11-5 治療拒否した妊婦のアセトアミノフェン大量服薬患者に対して、複数科介入し精神科病棟での医療保護入院にて加療した一例
川崎医科大学 救急医学 増田 淳一
- O11-6 当院における過量内服により生じた急性薬物中毒患者対応の取り組みについて
北九州市立八幡病院 救急科 平松 俊紀
- O11-7 クリニカルトキシコロジストによる中毒レクチャーの教育効果について
札幌東徳洲会病院 薬剤部 齋藤 靖弘

第3会場 研修室 902

9:00～10:00 一般演題7

家庭用品中毒

座長 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科 早川 桂

07-1 二酸化炭素中毒事件からみたドライアイス利用の拡大に伴う危険性
滋賀医科大学 愛甲健士郎

07-2 腐食性化学物質を経口摂取した2症例に対する情報提供の検討
新小文字病院 薬剤科 原 知斉

07-3 ベンザルコニウム中毒により気道狭窄を繰り返した一例
順天堂大学附属練馬病院 加藤万佐史

07-4 ナツメグ中毒の一例
札幌東徳洲会病院救急科 小山 泰凱

07-5 過去12年間に於いて当院に搬送された自傷・自殺企図による急性薬物中毒症例の変遷に関して
国立病院機構災害医療センター救命救急科 小原佐衣子

07-6 イレウス管による排泄が効果的と考えられた洗濯用液体洗剤を服用した一例
北海道医療センター救急科 定本 圭弘

10:00～10:40 一般演題8

工業用品中毒

座長 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 有吉 孝一

08-1 一酸化炭素中毒における血中トロポニンT陽性と間歇型中毒との関連 -COP-J試験サブ解析-
藤田医科大学ばんだね病院 救急科 金子 唯

08-2 ジエチレングリコール含有墨汁摂取後に死亡し、エチレングリコール中毒と考えられた1剖検例
岩手医科大学法科学講座法医学分野 森川 剛

08-3 灯油誤飲による高齢者のリポイド肺炎の診断
埼玉医科大学 臨床中毒科 喜屋武玲子

08-4 火山ガスによる硫化水素中毒の検案・剖検例
福島県立医科大学法医学講座 加藤 菜穂

医薬品中毒 3

座長 聖路加国際病院 救急科・救命救急センター 大谷 典生

09-1 バルプロ酸中毒に対して L-カルニチンを投与した 2 例
岩手医科大学 救急・災害医学講座 佐藤 正幸

09-2 バルビツール酸中毒に対して薬剤師が介入した 1 例
国立国際医療センター 薬剤部 小山 智之

09-3 三環系抗うつ薬中毒でフルマゼニル投与により心室細動や痙攣を来した一例
東京医科大学八王子医療センター 救命救急センター 大竹 成明

09-4 軽症搬送例の急変：クエチアピン・アトモキセチン・エスシタロプラムの複合中毒
神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター 石橋 拓恵

09-5 薬剤師の迅速な評価により早期介入しえたリチウム中毒の一例
広島大学病院 薬剤部 小澤 智紀

09-6 QTc 時間を指標に血液透析を実施した急性リチウム中毒の 1 例
旭川医科大学病院 救急科 難波 亮

09-7 フルニトラゼパム錠を水道水で溶解させ血管内注射し、末梢虚血と鑑別に難渋した一例
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 神田 大裕

09-8 非がん性慢性疼痛に対する麻薬を過量内服し、急性オピオイド中毒をきたした精神疾患を有する一例
岐阜大学医学部附属病院 救急・災害医学 加納壮一郎